ポルトガルの中心で

について

ポルトガルの中心で

「ポルトガルの中心」を見つけにきませんか。コースはちゃんと用意してあります。ポルトガルという国のアイデンティティが形作られたこの土地は、はるかな昔から、数々の歴史的事件の舞台となり、さまざまな文化の出会いの場となってきました。

これから提案する４つのコースには、ユネスコ(UNESCO)の世界遺産である、ポルトガルでも特に重要な３つの史跡が含まれますーーアルコバッサ修道院 (Mosteiro de Alcobaça) 、キリスト修道院 (Convento de Cristo) 、バターリャ修道院 (Mosteiro da Batalha) です。この３つは、建国の歴史にまつわる数々の逸話にゆかりがあると同時に、さまざまな建築様式が融合した美しい建築物でもあります。なかでももっとも古いアルコバッサ修道院は、ポルトガル初代国王によって建造され、シトー派修道会の所有となっていましたが、この修道会は、ポルトガルの農業と文化の発展に中心的な役割を果たしました。そして、今なおテンプル騎士団の神秘的な雰囲気が色濃くただようキリスト修道院は、おなじくテンプル騎士団によって１１６０年に建設された城と肩を並べています。騎士団がアラブ人から領土を守り、土地を奪回、拡張する拠点として選んだのがトマール（Tomar）の地でした。そして後期ゴシック様式の傑作バターリャ修道院は、強大なカスティーリャ王国に対しポルトガルの独立を確たるものにした証人です。

2013 ポルトガル観光局 無断転載・転用禁止
info@visitportugal.com

しかし、これだけではまだまだこの地方をよく知ったことにはなりません。「テンプル騎士団の財宝」は、騎士道物語の愛好家には格好のコースです。まずは、テンプル騎士団の神聖なる地理的中心、トマールからスタートです。このコースでは、テンプル騎士団のシンボルをいくつも発見できますーー入団の儀式の舞台となったサンタ・マリア・ド・オリヴァル教会（Igreja de Santa Maria do Olival）、騎士たちがミサを聴聞したキリスト修道院のシャロラ（Charola）。かつての所領地をさまよい、テージョ川に浮かぶ島にたたずむ神秘的なアルモウロル城（Castelo de Almourol）や、ドルネスの塔（Torre de Dornes）を訪れましょう。往時の見張り台からは、今もすばらしい風景がのぞめます。

さまざまな伝説や神話、謎にいざなわれるままに「信仰の道」をたどれば、ファティマ（Fátima）にたどりつきます。ここは聖母マリア信仰の世界的聖地のひとつに数えられ、羊飼いの子供たちが聖母を目撃した場所にあります。しかし、聖母マリアの出現が記録されたのは、ここだけではありませんーーナザレ（Nazaré）やポヴォア・デ・コス（Póvoa de Cós）、オルティガ（Ortiga）などに

も出現の記録が残されています。オビドス（Óbidos）の町では中世の風景に出会い、オウレン（Ourém）では、キリスト教徒の騎士に恋をし、ファティマからオウレアナと名を変えたモーロ人の王女の伝説に耳をかたむけてください。

海とセーラス・デ・アイレ・イ・カンデエイロス自然公園（Parque Natural das Serras de Aire e Candeeiros）の間で「4元素」のパワーを感じとるーーこれが、さらなるコースのテーマです。水、風、火、土がおりなす美しい風景のなかで、この星の初期の住人である恐竜の足跡にも出会えます。

「聖杯の探求」は、円卓の騎士による聖杯探求の物語にインスピレーションを得たコースであり、あなたの想像力にはひとつのチャレンジです。探求の旅の地図を、ポルトガルの中心に重ねてみてください。たちまちトマールは探求物語の英雄たちが集う場所に、トマールの城は新エルサレムの城に、シャロラはソロモンの神殿にはやがわりします。どうぞおすすめのコースをご自分のペースで

たどってみてください。きっと発見があるはずです。

2013 ポルトガル観光局 無断転載・転用禁止
info@visitportugal.com